

第9回「新スポーツ推進計画（仮称）」策定部会議事要旨

1 日 時

令和2年12月23日（水）10:00～11:40

2 会 場

OKBふれあい会館「403」小会議室

3 出席委員

西本裕委員（委員長）、山本英弘委員（副委員長）、松井奈穂委員、日下部光委員、坪井朝啓委員、亀山鉄也委員、藤原謙介委員、林剛史委員、中川雅洋委員、川口信司委員、丸山智則委員、浦野善裕委員

4 会議の形態

非公開

5 議 題

- (1) 「新スポーツ推進計画（仮称）」掲載項目（施策）について
- (2) その他意見交換

6 議事要旨

(1) 「新スポーツ推進計画（仮称）」掲載項目（施策）について

○地域スポーツ課スポーツ企画係より説明

- ・前回部会で審議したとおり、新計画の基本目標は、引き続き「スポーツ立県・ぎふ」とし、顕在化した課題解決のための施策目標（数値指標）を設定し、その達成に向けた施策を重点施策とする。
- ・今回は、その方針に沿って更新した各柱の掲載項目を発表し、議論する。
- ・なお、掲載項目のうち、複数の柱で連携が必要な項目は、連携施策一覧で整理していくこととする。

○競技スポーツの推進

- ・特に意見なし

○生涯スポーツの推進

(アドバイザー) ※当日欠席のため、事前に意見聴取

- ・総合型地域スポーツクラブの重点施策として「部活動との連携」に限定するのではなく、多種目・多世代・他志向の強みを活かした、クラブ活動がさらに広がり・深まりがもてる施策としてはどうか。
- ・スポーツリーダーバンクは登録指導者と指導者を求めるクラブ等とのコーディネーターまでできると良い。

○学校体育におけるスポーツの推進

- ・特に意見なし

○障がい者スポーツの推進

(委員長)

- ・アスリートナビゲーション事業という形ではなくても、アスリートの就業支援は引き続き推進して欲しい。

(副委員長)

- ・障がい者スポーツ環境の整備において、大学との連携をぜひ検討して欲しい。例えば、完全な雇用までは難しいかもしれないが、大学を基盤とする拠点クラブで、事務作業等を担いつつアスリートとして所属できるのではないか。また、学生の指導者資格実習として、障がい者スポーツの指導に参加させることや、看護学科の生徒の実習として参加させることも可能と考えている。

○スポーツによる地域振興

(アドバイザー) ※当日欠席のため、事前に意見聴取

- ・地域振興の重点施策が薄いように感じる。地域の良さを再認識できるウォーキングイベントなどの取組みの推進や、スキーやラフティングなど地域資源を活かしたスポーツツーリズムの推進を検討して欲しい。

(委員長)

- ・観光部局との連携だけでなく、スポーツ担当課として民間のスポーツツーリズム事業者と直接連携してもよいかもしれない。

(2) その他意見交換

- ・特に意見なし

(以上)